

お客様大感謝祭！ご参加下さった皆様ありがとうございました！



5月15日(日)今年も加古川の河川敷でお客様大感謝祭、バーベキュー大会を開催させて頂く事が出来ました。ご参加下さったお客様、本当にありがとうございました。こうしてお仕事をさせて頂けるのもお客様のお蔭です。本当に心より感謝しております。

当日は天候にも恵まれ本当に楽しい時間を過ごさせて頂く事が出来ました。家が近いと言う事で自転車でこられたお客様も！今年はバーベキューだけでなく焼きそばも焼かせて頂きました。本社の運営するグループホームの夏祭りでなれているので(笑)こうしてお客様にお集まり頂いて色んなお話が出来、コミュニケーションが取れる事は本当にありがたく幸せなことです。そしてお客様同士で仲良くして頂けるなんて私にとってこれほど嬉しい事はありません！建築を通じ、家を通じて人と人との関わりが広がって良い関係が築かれてお互いに成長して行ければこれほど素晴らしい事は無いと私は思います。

家を建てさせて頂き、リフォームをさせて頂き、そこからまた新たな人と人との架け橋のお役に立てることができたらと思います。ご参加下さったお客様、本当にありがとうございました。楽しんで頂けましたでしょうか？年に一度しか出来ませんが、これからも毎年開催出来るように頑張ってお参りますのでよろしくお願い致します。今回、参加出来なかったお客様も来年は是非ご参加下さいね。また皆様にお会い出来る事を楽しみにしています。

御用聞き しらやこういち

SK加古川通信

第53号
平成23年5月
SKグループから5版
御用聞き
白矢公一

SKグループ(株)創美建築企画
本社 京都市伏見区南寝小屋町53番地
WILLHOUSE
兵庫支店 加古川支社
加古川市加古川町粟津771の11

福島へ・・・



福島第一原発30キロ圏内

Jビレッジ、ダンボールの中身は防護服

支援物資のカップラーメン

海は手付かずぐちゃぐちゃ・・・

東日本大震災から2ヶ月以上が経ちました。実は・・・カンボジアのボランティア活動に行く前にどうしても行っておきたいと言う気持ちが強く、4月12日から13日の早朝にかけて福島第一原発の復旧作業に当たっていらっしゃる作業員の方々の拠点、Jビレッジに支援物資をもって一人で行って来ました。毎日テレビなどの報道でどんどん状況が悪くなる中、何も出来ない自分にイライラ・・・被災者の方々の状況に涙し、家族を失って悲しんでいる姿に涙し、それでも頑張って立ち直ろうとする姿に涙し・・・何も出来ない自分がもどかしく、しかし、お客様の家をお引渡しするまでは動けない、自分の責任をしっかりと果たし、お客様に納得して頂いてお引渡しをさせて頂いてからと自分に言い聞かせていました。たまたま夜に見ていたニュースで震災に会い、避難所で生活を送られている家族のインタビューを見ました。その家族のご主人は元々原発で働いていた方でした。原発の危ない状況の中、そのご主人に電話がかかり、原発の復旧作業にこいつの内容でした。ご主人は悩んだ様子でしたが行く事に決めました。インタビュー中は気丈に振る舞われていましたが、最後には泣いていました。その奥さんも行かないでは言えず、ただ泣くだけ・・・そんな姿に本当に心が痛みました。そしてその翌日、ご主人が作業に行く事に・・・ご主人は4歳になる娘を抱いてお別れ、泣いておられました。4歳の娘は訳もわからず無邪気にしていましたが、私はその姿に胸が引き裂かれる思いでした。誰も好き好んで死や被曝覚悟で働きに行きたい人などいません。それでも行かなければならない・・・家族の為、愛するものを守る為、そして原発の被害を防ぐため・・・毎日、ニュースなどで原発の被害状況が悪くなる中、全ては政府と東電幹部の危機管理の無さと無責任が引き起こした人災であると思っています。そんな中、必死で原発の被害を食い止めようと現場で直接戦っている作業員さんや自衛隊や消防や警察の方々の為に支援物資を持って行こうと決めました。私も弱い人間です。正直放射能は目に見えないので余計に怖い、それでも必死で原発と戦っている方々の事を思うと決心はゆるぎませんでした。朝から出発して不眠不休で1672.9キロ走破、家に着いたのは朝の5時半でした。一日でも早く原発の被害がおさまる事を心より願います。(詳しくはブログに記載しています。)

御用聞きのひとりごと・・・

4月18日～25日までカンボジアのボランティア活動に行きまして。ご支援・ご理解・ご協力下さった皆様、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。今回も本社の大西会長と共に活動を終えて帰って参りました。今年もカンボジアのバタンバン州に募金で産婦人科を建てるべく現地NGO法人BFDの代表ヘンモニチェンダ氏と現地視察、値段交渉を行いました。そして今年も産婦人科が2施設建設される事が決定致しました。今年の11月末頃に完成します。また11月末か12月始め頃にはカンボジアに行かせて頂きます。また、会で運営支援する孤児院SKO「伸びゆく子供達」を訪問しました。この施設では今現在24人の子供達が一緒に生活を送っています。私達が行くと子供達は走って飛び付いて来てくれます。本当にかわいい子供達、楽しそうな子供達ですがみんな心の中に傷を抱えています。普通に受けられるはずの親の愛情を知りません。虐待を受け保護された子や人身売買の途中に保護された子もいます。当然貧困ゆえに親に捨てられた子も・・・悲しいことです。カンボジアではまだまだ貧富の差が激しく、私と同世代ぐらいの人は学校で教育を受けていない人がたくさんいます。それは内戦による代償です。道徳的な事でさえわからない人がいるのです。戦争は人の命を奪うだけでなく、生き残った人間の人生までも奪うのです。もしもともな教育を受けることが出来たなら、と言う事で今まで小学校や中学校を募金で建設されてきました。これからは必要に応じて小学校や中学校、産婦人科などが建設されていく予定です。そしてノリア職業訓練学校「NVTC」にも訪問、この施設も学校に行く事が出来なかったり孤児でそだった女性に服飾の技術を身に付けてもらう施設です。現在ではここで作ったシャツやズボンや小物などを売って運営資金にしておりますが、現実はまだまだ支援が必要な状況です。こうやって活動出来るのも皆様のお蔭と本当に心より感謝申し上げます。詳しくはホームページのブログに記載させて頂いておりますのでよかったらご覧下さい。



孤児院SKO「伸びゆく子供達」



現地NGO法人BFDとの打ち合わせ



ノリア職業訓練学校訪問



御用聞き しらや こういち